

## 平成 29 年度 第 2 回逗子市生涯学習推進懇話会 会議録

- 日 時 2017 年（平成 29 年）6 月 30 日（金） 9：00～11：22
- 会 場 市役所 5 階 第 6 会議室
- 出 席 懇話会メンバー 金山彰風、大石忠、津留崎寿美子、田中肇、岸原晃、  
宮下重美（敬称略）  
アドバイザー 高橋美恵子（敬称略）
- 欠 席 懇話会メンバー 依田仁、小林仁、東弘之、岸名佑未子、關正義、石井進介、  
服部誠（敬称略）
- 事務局 市民協働課：須田課長、中川係長、北村（記録）
- 傍聴者 なし
- 配布資料 生涯学習活動推進プラン評価シート

### ○開会

座長あいさつ

### ○議題

#### 生涯学習活動推進プランの評価について

事務局：事前に皆さまからいただいた評価シートの内容をそのまま本日の配布資料としております。内容を整理する作業は事務局でさせていただきますので、本日いただいたご意見も含めて、量に制限はないので、整えて評価として提出させていただきます。総合計画のシートを見ると A B C による総合評価という項目がありますが、こちらでは評価とご意見だけをまとめさせていただきます。

#### 【共育ネットワーク構築事業】

事務局：ナニスルと、ずしコトという年間を通じたワークショップ、年度末に共育フェスティバルというイベントを行いました。

座長：まず、ナニスルについて。よく使われているとか、1 日になおすと利用が少ないとか多々意見があったと思うが、普及がされていないことと、普及する努力が少し足りないのではないかということがありました。だからだめということではなく、情報の提供と処理という、特に高齢者では機器の操作の問題もあるようですから、情報の提供だけでなく機器利用の講座というか、そういう努力をしなければいけないという指摘だけして、概ね順調ということではよろしいですか。

メンバー：はい。

事務局：画面は開いたがどう使うかわからない、掲載の仕方がわからないという声は実際にあるので、画面上に入力方法を表示するなど、工夫は必要かと思います。

メンバー：私もホームページを見たが、そこを押すとどうなるのかわからないし、小さいボタンが並んでいて、もう少し市で行われている行事とかがまとまっていたら良いと思う。最初の画面に説明を入れるなどして。

メンバー：ナニスルって、知らない人が見たら何なのか分からないかもしれないですね。

メンバー：ポータルサイトなのに入口がわかりにくいですね。

メンバー：ナニスルとか、ネットワークの使い方についての講座をすとかしていただくと良いと思います。

座長：そういう講座も、市の中央だけでなく、高齢者が動きやすいように地域で、例えば小坪・沼間のコミュニティセンターの他に市民活動センターを利用するなど、出向いての講座というのを考えると良いですね。

事務局：交流センターやコミュニティセンターだと、wi-fi が使えるんですよね。地域活動センターにはなかなかないのですが。

座長：共育フェスティバルはどうでしょう。

メンバー：これはすごくおもしろい企画だと思います。

メンバー：3月でしたよね。

事務局：そうです。

メンバー：集大成になるような企画？

事務局：年間を通じて、プロのワークショップのNPOが講座をしています。それを糧に、プロフェッショナル養成講座というのを行っていて、プロを育てる講座をして、それを受けた方々が翌年、何かやってみようか、という風につなげていくような形です。

メンバー：なかなか、予算がないとできないですね。

メンバー：土日の2日間？

事務局：フェスティバルは2日間で、資料にあるようなワークショップは年間を通じて、ほぼ毎月何かがあるような形です。

座長：学校行事との兼ね合いで日程の設定が難しいかなという気がしますが、今後、各学校と調整をしてかぶらないような仕組みが必要かなと思います。

#### 【生涯学習講座事業】

事務局：ずし楽習塾推進の会に委託している、Ⅰ～Ⅳ型までの講座です。いただいた意見の中では、参加者が少ないというものが多いです。

座長：提供された資料が乏しいです。必要なものがなくていないものがあるような。例えば、講師の名前が入っていない、市民グループはグループの名前が入っていなかったり、基本的なことが入っておらず評価がしにくいです。5月末までに税務処理のために、税務課に報告書を出していませんか？その報告書で良いのではないのでしょうか。

事務局：来年は早めに、そういうものでも構わないので提供してもらおうようにします。

メンバー：英語だとわかりにくいですね。知らない英語がすごく多くて何をやっているのか。あいちゃんと遊ぼうとか、講座名だけだと何をやる講座かわからないものがあります

ね。

事務局：来年、同じ時期に同様の評価をすることになりますので、内容のわかる資料を用意するようにいたします。事務局に対する意見ということで、評価ではないということでもよろしいですね。

座長：楽習塾設立の精神というのは、入門なんだけれど、あまり趣味だけではなくて、少しアカデミックなものにも向けるという趣旨があったんです。なので、ちょっと趣味に偏っているのかな、という感じ。説明資料としてⅠ～Ⅳ型までの狙いみたいなものを添付していただくと初めての方にもよく分かるのではないかなと思いました。評価には直接関係しません。

#### 【市民交流センター窓口機能充実事業】

座長：3つありますね。ナニスルと、市民講師登録制度、生涯学習ガイドブック。ナニスルについては先ほど話しましたので、それ以外に関してありますか。

事務局：ひとつは相談件数がもう少しあった方が良いということですね。

座長：生涯学習推進プランのつくりにあって、評価表の事業名、事業概要、年度目標、主な事業という様式は、これに書いてある。そしてこれが直せないという約束があるようで、毎年同じように出てくる。これは今日の話題ではないですが、計画をつくっても、計画の変更があったときにどう反映させていくかという考え方を決めておかないといけません。問題だけ提起しておきます。

相談窓口機能充実と表題に書いてあって、相談窓口に触れていないというのも変な話ですね。なので、この指摘は残しておいても良いかなと思います。

それから、市民講師というのは登録して、生涯学習ガイドブックにのせて、あとは個々に交渉するというのですが、利用されているかいないかを把握できないことは問題ではないかなと思いますね。10年ほど前、学校教育課で地元の先生大募集、というのに登録したが、一向に声はかからない、利用されていないこともありました。これは課題かなと思います、登録することは良いですが、利用状況を把握することですね。

メンバー：登録の更新というのはやっていないですか。

事務局：以前は、一度登録をしたらそのまま、誰も使わないまま残っていて、使おうと思ったら本人がいらっしやらないということもあったのですが、昨年、ナニスルに掲載するにあたって制度を変えました。登録する場合は必ず研修を受けていただいて、どんな人かわからないとなかなか使いづらいので、顔写真を掲載するようにして、年齢、地区、分野、電話番号などの一覧にしたところ、だいぶ問合せも増えているようです。Ⅰ型の講師になる方には必ず市民講師に登録していただくとか、そういう風にしていきたいと考えています。

座長：登録制度の方法を変えて、その結果、利用されているかどうかはわからないが、好評であるということと、楽習塾のⅠ型講師との連動が必要であるということはどうでしょう。

【共育ポータルサイト】

座長：これは先ほど話しましたので良いですね。

【市民交流センター維持管理事業】

事務局：平成 26 年度から指定管理になって、どうですかということと、それまでなかなかできなかった専門的な相談もできるようになったということがあります。館長が講師で、そういう講座が多くできるようになった。あとは、印刷コーナー、打合せコーナーの使い勝手などで、ご意見をいただければと思います。

座長：良い評価と問題点の指摘と両方あるようですが。

事務局：ススめ講座は、意見にあるように、参加者が少ないですね。PR が足りないのかなという話はしています。

座長：対象者として、定年を迎える人や、子育てのおわった無色の主婦層に狙いを定めて PR をしていく方法というのがあると思います。市民の意識調査などを見ていると、社会参加をしたいがなかなか参加できないという意見もある。それをどうやってつかまえるかは難しいかと思いますが。それと、フリースペースはよく活用されているようですし、印刷コーナーやパソコンコーナーもよく利用されているように思います。

メンバー：印刷コーナーですが、福祉会館と交流センターにあり、よくグループでどちらで印刷したらよいか議論になる。その時に、交流センターは少し高いのではないかという話があります。同じ市が運営している施設で、料金は統一はされないのでしょうか。

事務局：福祉会館では、印刷は登録団体しか使えないので、少し安くなっています。交流センターは市民活動用であれば誰でも使えるので福祉会館よりは高くなっていますが、他市の市民活動センターと比較して同程度の金額にはなっています。

メンバー：印刷機を使う場合は、自分たちで用紙を持っていっていますので、製版代と、インク代ですかね。

事務局：指定管理になって、交流センターの窓口で用紙が購入できるようになったことは好評です。

座長：職員の問題が 1 つありますね。これは消す訳にはいかないもので、職員の資質向上が必要という指摘があったといくらいで良いですね。

メンバー：それと、これは規則なのでしょうけど、部屋を借りるときに、前に使っていないでもぎりぎりまで開けてくれない。制限時間内で準備から撤収までというのはわかるけど、開いているなら入れてくれても良いのでは、といつも思います。

事務局：5分前でもだめですか。

メンバー：5分前でやっと開けれくれる。

メンバー：その辺は私も気になっているところです、少し融通がきいてもよいかと思えますね。もうひとつ大切なのは、メンバーからもあったバリアフリーの関係は、交流センターだけではないですね。文化プラザも、階段の前に何もありませんよね。そういう意味では、公共施設のバリアフリー化については全体的に対策を見つけて、最低限できた方が良いか

などと思います。

座長：利用状況は、一覧表がありますがもう少し具体的に曜日や時間帯などがわかると、利用するときに、計画をたてる段階で考慮できるのではと感じました。それから、利用状況の中で、利用者側でどれだけの利用団体があるのか、登録されている団体数だけでなく、どういう分野ごとなのかわかると市民の活動状況の把握になるのではないかと思います。

#### 【市民活動支援講座事業】

メンバー：市民活動ススめ講座で、500円というのが（参加者数が伸びない）ネックなのではないですかね。ワンコインであっても、市の講座は無料が多いから、よほど興味がある人でないと500円を出して参加するまでいかない。お金をとるのであれば、他の講座と違うという価値をつけないとなかなか人は集まらないのかもしれないですね。

メンバー：市の講座は無料というイメージがありますからね。

メンバー：全部500円なので、それだけの価値を見いだせるようなものをPRしないと。

座長：市民交流センターフェアもよかったと思います。小坪は公民館まつりなどがありましたよね。

事務局：コミュニティセンターになってからではないですが、応援防災広場や、出張エコ広場の開催、自主事業で子どもあそびなども企画したり、毎月常に催し物はあるような状況です。

座長：市民の交流の機会を作るのは大事ですね。これから、小学校区ごとの地区組織ができると、その可能性も増えてきますね。ハイランドでも自治会の役員によってときどきお祭りをしますが、そうすると住民の方々の交流になっているので、企画運営は大変だけど、そういう意味では、交流センターフェアは良かったのではないかなと思います。

#### 【社会参加・市民活動ポイントシステム運用事業】

メンバー：ずいぶん前から疑問に思っているのが、団体が市に枚数を申請して、そのイベントに参加した人に渡すのが本来だけど、配らずに元締めのようなところでまとめて換金する、という実態がありました。ボランティアや市民活動に参加してもらいたいがために配っているZenなのに、自分の意思で参加してきた人に配るのは賛成だけど、そういう風に使われているケースは実は多いのではないかなと思う。寄附制度もおかしな話で、自分の支援する団体に寄附するのを認めましょうという制度だと思うが、それはそもそものZenの意図とは違うのではないかなと思います。

事務局：まず、今の前段の話は、Zenの意図とは外れています。必ず、換金するときには、連番ではないか確認をするようにしています。それから、寄附制度は、自分の応援したい団体、分野に寄附をして市内で流通させるようなイメージだったが、なかなかうまくいっていない状況はあります。Zenは補助金ではないので、団体に対するものではないです。

メンバー：もう少し配布する際にはその辺のところ特に注意してほしい。連番できたところは次年度から配布をやめるとか。Zenの本来の役割を果たさずに、金券の贈与みたいになっているのは問題だしもったいないと思います。

メンバー：みなさんの意見としても、ネガティブですね。知っている人と知らない人と差が大きいし。

メンバー：知っている人はうまく（ずるく）利用して、人の善意を利用してしまっているような感じ。

メンバー：配布後の使い方についての報告を市へ出してもらおうとか…。

事務局：出していただいている、使い道の85%が商品券です。

メンバー：その先の、商品券で何を買ったとか、美化活動で使ったとか。報告を受けてはどうですか。

事務局：そこまでの把握はできないですし、商品券で何を買っても自由であるのがZenの魅力でもあり、他市からも視察がある理由なので。博物館に入れるとか、会議室が使えるとかは他市でも多いですが。

メンバー：もうひとつ問題だと思うのが、交付枚数と実際に交付した分を交換した実績に差があることですね。交換しなかった人は、Zenの存在を知らないとか、本当は意味のあることを知らないと思う。換えに行かない人達こそ大切なのではと思います。そこがZenに対してもどかしく思います。最初の頃は5枚以上集めないと交換できなかったけど、前より使える場所も増えているし。

事務局：そうですね、それをもっとPRしないといけないですね。

メンバー：PRしてお金に近いものだとわかれば、みんなもっとZenを欲しいと思うようになるでしょうね。広報ずしで特集するとか。

事務局：Zenのもらえる講座のお知らせはあるが、Zen自体の使い道は特集する意味はあると思います。

座長：意図と実際とがずれが出ているので、見直しが必要であるという評価ですね。また、担当者の事務負担も大きいのではないかと思います。この600万円には人件費が入っていませんので、それを入れたらもっと大きな金額になりますね。そういう意味で、検討を要する課題というコメントでいかがかと思います。

#### 【市民活動支援補助金交付事業】

メンバー：資料の金額がずれているのはどうことでしょうか。

事務局：資料に記載のある金額に誤りがありました。訂正をお願いしたいと思います。申ステップ1が2団体で10万円が正しい実績で、ステップ2が7団体で605,286円が正しい数字になります。

座長：共育の懇話会に出すときには進行管理表の数字を直しておいてください。

それからひとつ、団体の名前はわかるが、団体の構成員だとか代表の名前とかは必要なのではという気がしました。次年度からそういう風にしていただけたらよろしいかと思います。

#### 【人権教育等事業】

座長：実施結果の調書の中で、日付が入っていないのが気になりますね。

座長：それから、事業計画の中で、啓発パンフレットを作成すると書いてあるが、結果の中にはそれが触れられていないですね。やらなかったのであれば、その旨を記載すべきだと思います。

#### 【国際交流推進事業】

座長：これはフェアトレードと国際交流と2つだけですか。

事務局：フェアトレードの啓発と、池子の交流、それと多文化共生の講座です。

座長：多文化共生の講座について資料がないですね。調べて追加しておいてください。計画と結果の対応がとれていることが望ましいので。

#### 【非核平和推進事業】

事務局：ピースメッセンジャー中学2年生の派遣と、ずし平和デーの開催が大きなものです。

座長：この実施報告書は様式が決まっていますよ。収支決算書も出ていますので、平和デーは順調にいったらいい、ピースメッセンジャーも効果をあげていると思います。

メンバー：ピースメッセンジャーの募集人数に対して、競争率は高かったですか。

事務局：昨年は、1度目の募集では定員割れをしましたが、2次募集では多かったので抽選をして決定しました。

メンバー：21名とかでも全員は連れて行けないのですか。

事務局：1名増えるだけでも、金額はかなり変わってしまうので、難しいです。

メンバー：厳しいね。

座長：派遣したピースメッセンジャーに、市のさまざまな行事にボランティアとして参加してもらうような方法は考えられないかなと思います。

事務局：そうですね。これまでの参加者に、スマイルでの講座に参加してもらうなど、今後、考えていきたいと思っています。

メンバー：台風がきただけで報告会が中止のままだったのはもったいないですね。何故でしょう。

メンバー：障がい者単体の場合、介助者がつかないと旅行はできません。今回、療育センター、障がい児の教育施設ができたが、そういう若い人たちにもこういう平和の対象に成り得るのか、その辺がよくわからない。このような事業で一緒に行くというのはとても良いことだと思うので、そういうことも取り組んでほしいと思いますが、どうなっているのでしょうか。

事務局：募集の時点では、市内在住であることのみ条件だが、そういう方々には申込みにくいのかもしれないですね。募集時に、一言加えるなど配慮が必要かと思っています。

座長：ユニバーサルデザインでの立場での検討が必要であると加えておいてください。

#### 【各種講座事業】

座長：事業内容で、ひとつはパソコン教室の利用という方法で、もうひとつは現代的課題

に関する講座ということで違った内容なのですが、それを一緒にしてパソコンの講座という結果になっていますが少し違和感を感じました。それと、少し参加人数が少ないかなと思います。

メンバー：実施結果が27年なのは、28年の間違いですか。

事務局：内容も27年になってしまっているのので、訂正いたします。

座長：アサーティブコミュニケーション講座とは何ですか。

メンバー：ちらしを見れば副題で書いてあるけど、タイトル自体はわかりにくいですね。講座の名前自体に使わないでほしい。例えばナニスルにのった場合にちらしを見ないと内容がわからないし、とっかかりが悪いですね。

#### 【図書館活動事業】

座長：これはとにかく図書館報を早く出してくださいよう切望します。それと、リファレンスサービスを更に普及させるような活動が望ましいですね。図書館カードの登録率は、数字目標にせざるを得なかったようだが、そういう目標設定の仕方が問題かと思います。これはプランの改定の時の話題にさせていただきたいと思います。

#### 【文化財保存活用事業】

座長：文化財保護法を読むと、保存するのが第一で、活用は二の次なので、活用するという考え方の普及というのが必要だと思いました。逗子ではないですが、文化財を傷つける事件もあるので、保護の考え方の普及も大事なかなと思います。補足資料で、広報ずし4月号で神武寺の特集をしてくださったが、こういう活動を随時入れてくれることが大切だと思います。それともうひとつ、文化財保護委員というのがいるはずで、活用はどうなっていますか。お名前とか、活動状況を添付しておいてくださると良いですね。

事務局：ホームページに分野と名前は掲載しており、5名いらっしゃいます。29年度は新しい文化財の指定のために4回会議をしておりますね。

座長：そういうことも、次回からは是非のせてください。活発でなくても良いので。

メンバー：保護委員は国の制度なんですか。

座長：そうです。文化財保護法というのがあって、市町村、都道府県の役割が決められています。

メンバー：そうすると、その仕事には報酬が出ている訳ですか。

座長：出ています。

#### 【体験学習施設講座等事業】

座長：0円食堂というのは何ですか。

メンバー：食事を満足にできていない子どもたちのために、ボランティアで食事を提供するものです。子どもは無料、大人は300円とかで食べることができます。場所があれば宿題も見えたりとか。

メンバー：全国的にも普及してきていますね。

メンバー：食事ができない子だけではなくて、家でひとりで食べているとか、そういう子



どもたちのためでもありますね。みんなでわいわい食べましょうという。

メンバー：とても大事な事業ですね。

メンバー：野菜やくだもの寄附もありますね。

メンバー：まとめている会の名前はありますか。

メンバー：会の名前としてはないのではないかと思います。私が知っているのは、〇〇さんという方が中心になっていて、その方は若宮会の食事づくりのメンバーです。スマイルはキッチンが狭いので大変のようです。

メンバー：スマイルはできてから何年ですか。

事務局：3年ほどです。

メンバー：まだ短いのに、よく活動していると思います。スタッフに学生を巻き込んでいることがまた良いことだなと思います。そういう子たちが色々と引き継いでいってくれるのではないかなと思います。

座長：報告書に、講師の名前や団体の名前は是非入れていただきたいです。市民がどのように加わっているかを知ることは大切なので。それと、フェスティバルの報告書は以前のもの比べてわかりにくいです。様式を統一できた方が、作成する方も見る方もわかりやすいですね。

メンバー：社会教育講座の一覧表がとてもわかりやすく、募集人数、出席者数、応募率がわかり、今後、他のところも利用してほしい。

事務局：今回の講座事業には全てその意見を加えておきます。

#### 【子ども講座事業】

メンバー：講座、何をやったのか資料がなくてわからないですね。

事務局：難しいのが、もとの目標がポータルサイトなのでそこに集約されてしまっているんですよね。市民協働課の事業なのですが、子ども講座を市民協働課が主催しているのではなく、スマイルなど市全体で行っている講座をあわせて2,000講座を目指すというものなので、そのためにナニスルを開設する、仕組み作りという部分です。なので、事業名と一致しないのですが。

メンバー：テーマは違ってもナニスルがたくさん出てきて、どこか1つにまとめた方が良いのではないですか。

事務局：来年からは1つにまとめるようにしましょう。

#### 【家庭教育推進事業】

メンバー：これは私1つ参加して、娘も初めて子どもが生まれたので参加しましたが、とても喜んでいましたし、私自身も良かったと思います。孫育てとか夫婦のあり方とか、多義にわたっていて、おもしろいと思いました。

メンバー：参加者はほとんど女性ですか。

メンバー：夫婦のものはそんなことはないのではないですか。

メンバー：民間でやったら高いようなものもありますね。

### 【学校支援地域本部事業】

座長：学校支援地域本部というのとは何か条例で設置されているのですか。

事務局：要綱だと思います。

アドバイザー：それと文部科学省も、チーム学校という考え方を示して、地域と学校とが連携して、これまでの地域本部を強力にしていくということですね。

メンバー：学校ごとに温度差があり、小学校中学校でもあり、中学校はそれほど地域まで入り込まなくて、清掃くらいですかね。地域団体とうまくいっているところもあれば、そうでないところもあり。

メンバー：学校差とは具体的にはどのようなものですか。

事務局：学校支援地域本部は、先生1人と、地域のコーディネーターが取組みを決めていく訳ですから、学校によっては草刈りをやろうとか、登下校の見守りを頑張ろうとか、学校のニーズがありますから、学校によって取組みが変わってくる。それに応じて金額も変わってきますね。

メンバー：気になるのは、学校のニーズが先生レベルであって、学校で差があるという…

事務局：地域本部の役割は難しく、あまりお節介に何かありますか、というのもできないですし、ただできえ大変な先生方なので。そうかといって何もしないのも違いますし。ただ、普通はカリキュラムまで踏み込むことはできないですが、内容によってはそれも可能になるのは良いところですよ。

メンバー：先生方の負担を減らすためには始めたはずなのに、担当の先生には逆に負担になっているようになっていて、課題はいっぱいありますね。報告書を見ていると、学校によってやる気のあるないはわかりますね。

メンバー：この事業の対象となっているのは、逗子市の中にある学校ですね。そうすると、障がい者関係で、盲学校、ろう学校、養護学校とかあるわけで、障がい者に対する理解を深めていくときに、学校が中心となって、地域の中には障害者はいるけども、市内には障がい児者のための学校はないから、横浜、茅ヶ崎、武山まで行かないといけない。そうすると、障がい者に対する学校教育、家庭教育はどうなっていくのか、ひとつ課題になると思います。苦勞している子どもの支援が抜けているので、もう少し目を向けてほしいと思います。

座長：こちらの事業のというよりは、プランの改定の中に入れて問題提起する方法が良いかと思います。

アドバイザー：その学区に住んでいる障がいを持った子どもたちは、その学区に関わるような地域本部であれば良いと思いますね。それと、私立に通っている子もそうですね。

### 【教育相談事業】

座長：教育相談事業という名前なので教育相談をするのかと思ったら、タイトルと中身が一致していないんですね。去年との整合性もないですね。

メンバー：今はどこにあるんですか。

事務局：前の青少年会館のところが、療育センターになっていて、教育センターも入っています。

メンバー：教育相談事業というと、もっと大きな事業を想像しますよね。

アドバイザー：学校の中は、スクールカウンセラーがいて、学校にいない時の補助で、学童とか、普通はボランティアに任されているけど、市の事業としてやっているのは珍しいし、良いことと思います。

### アドバイザー総括

アドバイザー：今日は評価ということだったが、決まり切った従来の評価ではなく、事業に愛情をもって見て、改善していこうという形の評価ができていないかと思いません。行政的な冷たい評価ではなく、しかも批判的なものではなくて、支援につながるような評価ができて改善につながっていくのかなと思います。裏の話とか、そういうことが話せる場であったことが、またわかりやすくよかったのではないかと思います。

### その他

座長：その他、何かあればどうぞ。

メンバー：アンケートを色々見ましたが、どこからこの講座を聞いたかというところ、ほとんどが広報ずしで、ほとんどゼロがビーチFM、それから多いのはちらしですね。文化祭関係は口コミが多い。ホームページも、ないところはないです。広報ずしにいかにかうまくのせるかが集客につながるのかなと思いました。

メンバー：今日の評価を聞いて感じたことですが、このプランの中に、視点を変えないといけないところがありますね。基幹計画のなかに、「ともに学びともに育つ共育のまち」とあるが、考えなくてはいけないのは情報を共有すること。共有という言葉はこの中にはない。それを考えてほしい理由は、これからは情報にアクセスしなければならない。アクセス権がなければ、障がいのある人には、情報を集めることもできない訳です。つまり、情報を共有することが平等にできているかということを考えていただかなければいけないと思います。例えば、市から補助金を受けて、補聴器を購入できる。それとは別に、介護の関係の杖なども援助してもらえる。弱者の場合は、普通の字では読めないから、例えばタブレットを使えば文字を大きくできる。しかし、肝心のタブレットが高い。それを、市で補助とかそういうことも考えてほしい。アクセスフリーを、費用の面からも考えてほしいと思います。

座長：プランの変更についてはどうなっていますか。

事務局：総合計画審査会が8月にありますので、それ以降に、今後の方針が示されると思いますので、よろしく願いいたします。

座長：わかりました。それでは、本日はありがとうございました。

(11:22 終了)